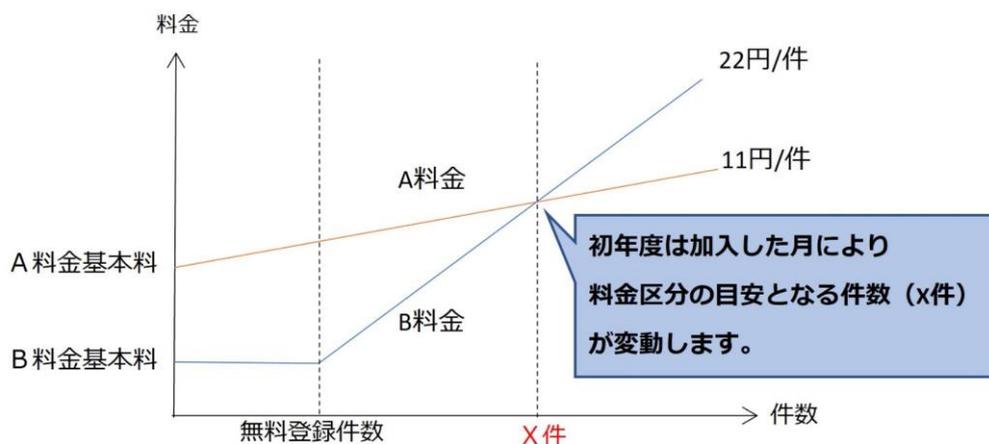


A料金とB料金の比較イメージ（加入した初年度の場合）

初年度のみ、料金区分を選択する目安となる登録件数が異なります。

件数表をご確認の上、料金区分を選択してください。



件数表（X件）

加入予定月	初年度												翌年度以降
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
排出事業者	2,215件	2,000件	1,815件	1,600件	1,415件	1,200件	1,015件	800件	615件	400件	215件 ※		2,400件
処分業者	1,280件	1,150件	1,050件	920件	820件	690件	590件	460件	360件	230件	130件 ※		1,380件

初年度の予定件数が上表の件数を超える場合はA料金、以下の場合はB料金の方が年間の利用料金が低くなります。

※3月に加入した場合、初年度は料金区分に応じて使用料のみ発生します。

翌年度以降の料金区分の目安（X件）は排出事業者の場合2,400件、処分業者の場合1,380件となります。

翌年度以降の料金区分を変更する場合は必ず3月までに変更手続きを行ってください。

料金区分の変更については[こちら](#)

例) 排出事業者の場合

- ・初年度<7月に加入予定、登録予定件数が年間1,710件（月190件×9か月）の場合>

A料金の場合：基本料17,600円+使用料11円×1,710件 = 33,100円

B料金の場合：基本料1,320円+使用料22円×（1,710件-無料登録件数60件） = 34,200円

- ・翌年度<登録予定件数が年間2,280件（月190件×12か月）の場合>

A料金の場合：基本料26,400円+使用料11円×2,280件 = 51,480円

B料金の場合：基本料1,980円+使用料22円×（2,280件-無料登録件数90件） = 50,160円

初年度の基本料・無料登録件数の早見表は[こちら](#)